

公益社団法人 薬剤師認定制度認証機構
平成 29 年度定時社員総会議事録

1. 開催日時 平成 29 年 6 月 23 日（金）14：00～15：20

2. 開催場所 スマート会議室（郵政福祉虎ノ門第 2 ビル 1 階）
東京都港区虎ノ門 2-9-8

3. 出席者

（特別会員 議決権行使者） 2 名

（般社）日本病院薬剤師会 木平 健治

（般社）日本医療薬学会 山田 安彦

（正会員 議決権行使者） 17 名

東邦大学薬学部 後藤 典一、（般社）薬剤師あゆみの会 鈴木 朝三、
慶應義塾大学薬学部 藤本 和子、（般社）イオン・ハピコム人材総合研修機構
鈴木 浩章、神戸薬科大学 岩川 精吾、（公社）石川県薬剤師会、吉藤 茂行、
北海道薬科大学 渋谷 朋広、星薬科大学 堀内 正子、（般社）昭薬同窓会（平
成塾）逸見 仁道、（般社）学校法人 医学アカデミー 斎藤 慶、（般社）日本
女性薬剤師会 市場 みすゞ、日本大学薬学部 亀井 美和子、（般社）薬局共
創未来人財育成機構 篠原 悦子、（般社）ソーシャルユニバーシティ
中西 憲幸、（公社）神奈川県薬剤師会 小川 護、（般社）日本プライマリ・ケ
ア連合学会 吉山 友二、（般社）日本病院薬剤師会 木平 健治

（個人会員 議決権行使者） 1 名

吉田 武美

（書面表決提出者） 12 名

（特別会員）（公社）日本薬剤師会、（公社）日本薬学会、
（般社）日本私立薬科大学協会、国公立大学薬学部長会議

（正会員）明治薬科大学、新潟薬科大学、北海道医療大学、埼玉県病院薬剤師
会生涯研修センター、昭和大学薬学部、NPO 法人 医薬品ライフタイ
ムマネジメントセンター、（般社）日本在宅薬学会

（個人会員） 矢澤 一博

(欠席、書面表決未提出者) 1名

(正会員) (公財) 日本薬剤師研修センター

(来賓) 厚生労働省医薬・生活衛生局総務課医薬情報室 紀平 哲也室長

(事務局) 清水 亨事務局長、田中 美香

唐沢公認会計士事務所 円城寺 大樹

4. 議案(事前配布資料)

第1号議案 平成28年度事業報告に関する件

第2号議案 平成28年度収支決算報告に関する件

第3号議案 平成29年度会費規程に関する件

第4号議案 理事・監事の改選に関する件

当日配布資料

1. 議事次第
2. 出席者名簿
3. 第4号議案役員名簿
4. 新任理事候補者履歴書(終了後回収)
5. 認定薬剤師発給数推移

5. 議事概要

清水事務局長より開会を宣言した。

最初に本日の出席者の報告があり、社員総数33名中20名の出席、13名の欠席であるが、欠席社員数13名中12名からは書面表決票が提出されており、本機構の定款17条に基づき、過半数に達しており、総会は成立している旨報告した。

なお、本日は厚生労働省医薬・生活衛生局総務課医薬情報室 紀平 哲也室長 唐沢公認会計士事務所の円城寺 大樹氏のご出席をいただいている旨を報告した。

続いて吉田代表理事の挨拶があり、かかりつけ薬剤師取得要件の一つに当認証機構の認証する研修認定制度等の研修認定を受けていることが求められ、当日配布資料に示すように、認定薬剤師発給数が大幅に増加しており、薬剤師生涯学習の重要性が高まっていることを述べた。認定薬剤師は、3年毎の更新が必要であり、かかりつけ薬剤師を維持する上での生涯学習の重要性を述べた。また、本日の審議事項のうち、第1号議案及び第2号議案は、承認されると今月末までに内閣府公益認定等委員会への報告義務があることを述べた。

議事に入る前に、事務局長より事前配布と当日配布資料の確認が行われ、当日配布資料のうち、新任理事候補者3名の履歴書は会議後回収する旨述べた。

次いで、事務局長より議長と議事録署名人の選出に関して説明があり、それぞれ以下の通り選出された。

議長選任

定款第 15 条に基づき、出席した社員の中から議長を選出するに当たり、事務局長より意見を求めたところ、吉藤 茂行氏が推薦され、全員の賛成により吉藤 茂行氏が議長に選出された。

議事録署名人の選任

出席社員の中から議事録署名人に、山田 安彦氏と亀井 美和子氏の 2 名が選出された。

議事概要

議長挨拶の後、議事次第に沿って議事を進行した。

《審議事項》

最初に第 2 号議案が審議された。

(1) 第 2 号議案 平成 28 年度収支決算報告に関する件

議長の指名により、平成 28 年度の収支決算について、事前配布された資料に基づき、事務局長並びに唐沢会計事務所の円城寺氏から次の通り報告された。

事務局長より、予算、決算に関して説明があった。事業活動収入に関しては、年会費として正会員、特別会員、個人特別会員、認証申請会費（5 件）、更新申請会費（1 件）であったと報告した。正会員会費の増加は、主に認定証発給枚数の増加によるものであると説明された。また、支出に関しては、事業費支出及び管理支出の各項目の説明があり、旅費、交通費が予算を下回っているのは、認定制度委員会等への出席者が少なかったこと、諸謝金が多かったのは認定審査に係る謝金等の費用が執行されなかったことが理由であるとの説明があった。次いで、円城寺氏から平成 28 年度の収支決算については、収支決算報告書、財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書等の諸表に基づき、詳細を報告し、特定資産として新規購入予定のコピー機があり、収支決算全体としては、収支相償、公益目的事業比率、遊休財産保有額に関して公益認定基準を満たし、公益法人の条件に則っていると説明された。

続いて事務局長により、平成 28 年度監事監査結果について、監事監査報告書が読み上げられ、収支決算及び理事の業務執行は適正に行われている旨の報告がなされた。

議長から、第 2 号議案について諮ったところ、全員賛成の挙手があり、欠席社

員 12 名からも賛成の書面表決の提出があったので、賛成多数で承認された旨宣告された。

(2) 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告に関する件

議長の指名により、代表理事より、予め送付された資料に基づき報告がなされた。概要は次の通りである。

当認証機構は、平成 22 年 7 月 1 日付で、内閣府公益認定等委員会より、公益社団法人として認定の公示を受けた。

認定された公益目的は、「地域社会の健全な発展に貢献する薬剤師の、自主的学習を支援するために実施される各種の薬剤師生涯研修・認定制度の質的水準の確保」である。その目的を達成するために、平成 28 年度は、

- ① 薬剤師生涯研修・認定制度に対する基準の設定、評価チェックリスト及び指針（ガイドライン）の作成、その他評価基準及びその改善、普及に関連する事業
- ② 薬剤師生涯研修・認定制度の実施機関からの申請に基づき、制度の内容等を評価し、基準に適合する制度を認証し公表する事業

を行った。これらは、当機構の設立以来の一貫した事業である。

平成 28 年度は、薬剤師生涯研修・認定制度に関連する基準等の見直しと改善、及び薬剤師生涯研修実施機関からの申請に応じた評価・認証と公表、認証更新に関する事業に関して事業概要、会議関連事項、事業関連事項等に関して報告した。平成 28 年度は、理事会、社員総会、薬剤師認定制度委員連絡会の開催したこと、5 件の新規申請、1 件の更新申請があったことを報告した。また、私立薬科大学・薬学部へのパンフレットと当認証機構の紹介を兼ねパンフレットを配布した。また、数種の学会やシンポジウム等で代表理事が講演を行ったことを述べた。

質疑終了後、議長から第 1 号議案について諮ったところ、全員賛成の挙手があり、欠席社員 12 名からも賛成の書面表決の提出があったので、賛成多数で承認された旨宣告された。

(3) 第 3 号議案 平成 29 年度会費規程に関する件

議長の指名により事務局長より、予め配布された資料をもとに、当年度の会費は毎年度社員総会において議決されて成立することになっていること、今回提案している会費規程は、昨年度と変更はないが、会費の規程に関しては社員総会専権事項であることから、規程の改正に関する件を提案するものである旨説明された。

議長から第 3 号議案について諮ったところ、全員賛成の挙手があり、欠席社員

12名からも賛成の書面表決の提出があったので、賛成多数で承認された旨宣告された。

(4) 第4号議案 理事・監事の改選の件

議長の指名により代表理事より説明があった。現理事は平成27年6月に選任され2年任期であることから改選期を迎えた。現監事は、平成25年6月に選任され、4年任期であることから改選期を迎えた。理事・監事は、定款第12条2号により社員総会において選任して頂きたいとし、理事候補者として、重任9名、新任3名の12名を、監事候補者として重任2名を提案するものである旨説明された。

議長より、予め配布された名簿をもとに、理事・監事各候補者を1名ずつ読み上げ、選任の可否を挙手により問うたところ、全候補者につき、全員賛成の挙手があった。議長から、欠席社員12名からも賛成の書面表決の提出があったので、理事・監事候補者全員につき、賛成多数で承認された旨宣告された。

なお、本議案と関連して、理事の選出方法に関する質問があり、今後理事候補の選出に関して、適切な方法を検討することとされた。

《報告事項》

(1) 平成29年度事業計画並びに収支予算について

議長の指名により、代表理事及び事務局長より、平成29年3月の第4回理事会において承認された平成29年度の実業計画ならびに収支予算の内容についてそれぞれ報告された。事業計画に関しては、基本的には昨年度と同様であるが、単位を中心にする研修制度に加え、学習成果基盤型の研修制度に関する議論を行っていることが報告された。一方、収支予算に関しては、事業費、管理費の概要の説明に加え、昨年度の認定薬剤師発給数の大幅な増加に伴う会費収入の大幅な増加が見込まれ、その対応が本年度の課題となることが報告された。

閉 会

以上の議事を終え、15時30分閉会した。

以上

上記議事における決議内容に相違ないことを明確にするため、議長および議事録署名人がこれに署名、捺印する。

平成 29 年 6 月 23 日

議 長 吉藤 茂行 印

社 員 山田 安彦 印

社 員 亀井 美和子 印